政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

施策の柱	２－２　こどもを産み、育てやすい環境を創る
施策	２－２－１　子育て支援の充実

指標NO	36

指標名	仕事と家庭生活を両立する支援体制が充実している	単位	%

担当局（区）	こども未来局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	―	25.0	36.0	50.0	○
現状値	14.8	21.0	－	－	

目標設定の考え方	保育施設、子どもルーム、特定保育等の拡充に加え、家庭的保育や幼稚園長時間預かり保育等、多様な保育需要への対応を推進することとし、目標値を設定した。

【達成状況の分析】

保育所の整備や幼稚園の長時間預かり保育の推進など保育の受け皿の拡充をはじめとした取組みの推進により、平成26年度から2年連続待機児童ゼロを達成するなど保育需要への対応を進めるとともに、一時預かりや障害児保育など、多様な保育需要への対応を進めた結果、指標の値が着実に向上した。

【課題及び今後の取組みの方向性】

数値の向上は見られるものの、中間目標値には達していないことから、今後も、千葉市こどもプランに基づき、保育需要に対応するための保育の受け皿の拡充を進めるとともに、子どもルームや病児・病後児保育の拡充など、進捗の遅れが見られる事業についても積極的に推進し、指標の値の向上を図る。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	保育所の整備	保育所の新設	116か所	20か所増	136か所	136か所	達　成	
2	保育所の整備	保育所の定員変更	1か所（23年度事業量）	6か所	6か所	6か所	達　成	1,250,971
3	保育所の整備	保育所の分園設置	―（23年度事業量）	12か所	12か所	2か所	未達成	
4	多様な保育需要への対応	一時預かりの拡充	19か所	15か所増	34か所	34か所	達　成	
5	多様な保育需要への対応	特定保育の拡充	19か所	5か所増	24か所	23か所	概ね達成	
6	多様な保育需要への対応	病児・病後児保育の拡充	8か所	4か所増	12か所	8か所	未達成	
7	多様な保育需要への対応	休日保育の拡充	3か所	3か所増	6か所	5か所	未達成	164,556
8	多様な保育需要への対応	障害児保育の拡充	109か所	20か所増	129か所	131か所	達　成	
9	多様な保育需要への対応	延長保育の拡充	107か所	20か所増	127か所	129か所	達　成	
10	先取りプロジェクト認定保育施設及び保育ルームの拡充	先取りプロジェクト認定保育施設及び保育ルーム	64か所	18か所増	82か所	71か所	未達成	165,556
11	子どもルームの拡充	新規開設	107か所	3か所増	110か所	108か所	未達成	
12	子どもルームの拡充	増設	1か所（23年度事業量）	3か所	3か所完了	2か所完了	未達成	36,514
13	子どもルームの拡充	移転	4か所（23年度事業量）	12か所	12か所完了	8か所完了	未達成	
14	グループ型小規模保育の拡充	グループ型小規模保育施設	2か所	4か所増	6か所	7か所	達　成	137,462
15	幼稚園教育の充実（長時間の預かり保育の拡充）	長時間預かり保育の実施	10園	15園増	25園	25園	達　成	29,161
16	父親の育児参加の促進	両親学級の土日開催	―	1回／月	1回／月	年間13回	達　成	3,700
17	男女共同参画の推進	男女共同参画推進事業者の登録者数	41団体	34団体増	75団体	75団体	達　成	0

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	ファミリー・サポート・センター	登録会員数	4,575人	825人増	5,400人	5,073人	未達成	40,344
2	男女共同参画センター管理運営事業	調査研究、情報収集・提供、相談事業、研修学習、交流啓発、貸館業務（利用者数）	89,313人	20,207人増	109,520人	68,857人	未達成	445,841

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

施策の柱	２－２　こどもを産み、育てやすい環境を創る
施策	２－２－１　子育て支援の充実

指標NO	37

指標名	子育ての不安や悩みを解消するための相談体制などが充実している	単位	%

担当局（区）	こども未来局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	―	44.0	51.0	60.0	△
現状値	37.4	37.8	－	－	

目標設定の考え方	地域子育て支援拠点等の拡充、地域活動事業（育児相談等）の拡充、子育てに関する各種相談事業の充実を図ることとし、目標値を設定した。

【達成状況の分析】

子育ての不安や悩みを解消するため、子育て支援館や子育てリラックス館等の地域子育て支援拠点事業及び認可保育所増に伴う地域活動（育児相談等）の拡充のほか、子育てサポーター・家庭教育アドバイザー等の各種事業を実施しているが、平成26年度末目標値を達成することができなかった。

具体的には、子育てリラックス館を2か所整備し各区2か所の12か所とする予定であったが、事業者の応募がなかったため、1か所の整備にとどまり、11か所での実施となったこと、また、家庭教育支援として、公民館で家庭教育講座を118事業実施する予定であったが、地域におけるニーズの減少のため、74事業の実施となったことなどが影響していると考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】

子育てリラックス館については、引き続き1か所を整備するため、公募要件等の見直しを行い、事業者確保に努める。また、家庭教育支援については、子育てサポーターの増員による相談体制を整備するため、引き続き地域人材の確保に努める。

保護者の子育ての不安や悩みを解消し、子育ての負担を軽減するため、引き続き、地域子育て支援拠点事業、保育所の地域活動、家庭教育支援を実施し、子育てに関する各種相談事業の充実を図っていく。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	保育所地域活動事業の拡充	地域活動の拡充	109か所	20か所増	129か所	131か所	達　成	2,238
2	子育てリラックス館の整備	子育てリラックス館	10か所	2か所	12か所	11か所	未達成	2,989
3	家庭教育を支援する学習の推進	公民館主催事業	100事業	18事業増	118事業	74事業	未達成	0
4	家庭教育を支援する学習の推進	家庭教育支援チーム	１区	１区増	２区	２区	達　成	571
5	家庭教育を支援する学習の推進	子育てサポーター	3人／区	3人／区増	6人／区	5.5人／区	概ね達成	968

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	子育て支援館管理運営	利用者数	83,090人／年	250,000人	84,000人／年	74,508人／年	概ね達成	202,939
2	地域子育て支援センター	利用者数	92,260人／年	282,000人	96,000人／年	84,946人／年	概ね達成	153,521

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

施策の柱	２－２　こどもを産み、育てやすい環境を創る
施策	２－２－１　子育て支援の充実

指標NO	38

指標名	安心して出産できるまちだと感じる	単位	%

担当局（区）	こども未来局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	―	36.0	42.0	50.0	△
現状値	29.5	31.0	－	－	

目標設定の考え方	出産から育児まで各種支援の充実を図ることとし、目標値を設定した。

【達成状況の分析】

保育所の整備など保育の受け皿の拡充をはじめとした取組みの推進により、保育需要への対応を進めるとともに、一時預かりや障害児保育など、多様な保育需要への対応を進めたことに加え、子ども医療費助成制度の拡充や妊婦乳児健康診査などの取組みなどにより、指標の値は向上した。

【課題及び今後の取組みの方向性】

数値の向上は見られるものの、中間目標値には達していないことから、今後も、千葉市こどもプランに基づく保育需要に対応するための保育の受け皿の拡充や多様な保育需要への対応、その他事業に掲げる取組みを着実に推進するとともに、子どもルームや病児・病後児保育の拡充など、進捗の遅れが見られる事業についても積極的に推進し、指標の値の向上を図る。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	保育所の整備	保育所の新設	116か所	20か所増	136か所	136か所	達　成	
2	保育所の整備	保育所の定員変更	1か所（23年度事業量）	6か所	6か所	6か所	達　成	1,250,971
3	保育所の整備	保育所の分園設置	―（23年度事業量）	12か所	12か所	2か所	未達成	
4	保育所の改築・改修	大規模改造	―	1か所	1か所完了	12か所	達　成	772,718
5	保育所の改築・改修	改築	―	4か所	4か所完了	4か所	達　成	
6	多様な保育需要への対応	一時預かりの拡充	19か所	15か所増	34か所	34か所	達　成	
7	多様な保育需要への対応	特定保育の拡充	19か所	5か所増	24か所	23か所	概ね達成	
8	多様な保育需要への対応	病児・病後児保育の拡充	8か所	4か所増	12か所	8か所	未達成	
9	多様な保育需要への対応	休日保育の拡充	3か所	3か所増	6か所	5か所	未達成	164,556
10	多様な保育需要への対応	障害児保育の拡充	109か所	20か所増	129か所	131か所	達　成	
11	多様な保育需要への対応	延長保育の拡充	107か所	20か所増	127か所	129か所	達　成	
12	先取りプロジェクト認定保育施設及び保育ルームの拡充	先取りプロジェクト認定保育施設及び保育ルーム	64か所	18か所増	82か所	71か所	未達成	165,556
13	子どもルームの拡充	新規開設	107か所	3か所増	110か所	108か所	未達成	
14	子どもルームの拡充	増設	1か所（23年度事業量）	3か所	3か所完了	2か所完了	未達成	36,514
15	子どもルームの拡充	移転	4か所（23年度事業量）	12か所	12か所完了	8か所完了	未達成	
16	グループ型小規模保育の拡充	グループ型小規模保育施設	2か所	4か所増	6か所	7か所	達　成	137,462
17	幼稚園教育の充実（長時間の預かり保育の拡充）	長時間預かり保育の実施	10園	15園増	25園	25園	達　成	29,161
18	子育てリラックス館の整備	子育てリラックス館	10か所	2か所	12か所	11か所	未達成	2,989
19	幼稚園教育の充実（健康増進事業への助成）	健康増進事業への助成	―	内科・歯科健診への補助 ぎょう虫卵検査への補助	内科・歯科健診への補助 ぎょう虫卵検査への補助	内科・歯科健診への補助 ぎょう虫卵検査への補助	達　成	14,378
20	子育て中の親子を対象とする食育の推進	食育フェスティバル	―	6か所実施	6か所実施	6か所実施	達　成	0

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	子育て支援館管理運営	利用者数	83,090人/年	250,000人	84,000人/年	74,508人/年	概ね達成	202,939
2	地域子育て支援センター	利用者数	92,260人/年	282,000人	96,000人/年	84,946人/年	概ね達成	153,521
3	ファミリー・サポート・センター	登録会員数	4,575人	825人増	5,400人	5,073人	未達成	40,344
4	エンゼルヘルパー派遣	利用者数	227人/年	745人	270人/年	286人/年	達　成	17,304
5	子ども交流館管理運営	利用者数	62,984人/年	189,000人	63,000人/年	H26　96,330人/年	達　成	392,539
6	子ども医療費助成	医療費の一部助成	実施	実施	実施	実施	達　成	0
7	妊婦乳児健康診査	健康診査	妊婦健診14回/人 乳児健診2回/人	妊婦健診14回/人 乳児健診2回/人	妊婦健診14回/人 乳児健診2回/人	妊婦健診14回/人 乳児健診2回/人	達　成	2,187,588

政策評価シート【個票：客観指標】

施策の柱	２－２　こどもを産み、育てやすい環境を創る
施策	２－２－１　子育て支援の充実

指標NO	39

指標名	保育所待機児童数	単位	人

指標の説明	保育所の入所申込を行い、入所要件には該当しているが、入所できていない児童数（但し、保育所以外の場で適切に保育が行われている者等を除く。）	担当局（区）	こども未来局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	―	96	0	0	◎
現状値	123	0	－	－	

目標設定の考え方	目標は、待機児童ゼロである。 受入れ枠の拡大を計画的に推進する。

【達成状況の分析】

既存施設の有効活用を基本とした保育所の整備や、小規模保育事業、事業所内保育事業など子ども・子育て支援新制度における新たな認可事業の整備、幼稚園の長時間預かり保育の推進などの保育の受け皿の拡充に加え、子育て支援コンシェルジュなどによる保護者等へのきめ細やかなあっせんを行った結果、26年4月、27年4月において2年連続待機児童ゼロを達成した。

【課題及び今後の取組みの方向性】

今後も、千葉市こどもプランに基づき、私立幼稚園の認定こども園移行や認可外保育施設の認可化、事業所内保育事業の推進など、少子化の進行を見据え、既存施設の有効活用を基本とし、潜在的な需要も含めた保育の受け皿を確保するなど、待機児童ゼロの継続を図る。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	保育所の整備	保育所の新設	116か所	20か所増	136か所	136か所	達　成	
2	保育所の整備	保育所の定員変更	1か所（23年度事業量）	6か所	6か所	6か所	達　成	1,250,971
3	保育所の整備	保育所の分園設置	―（23年度事業量）	12か所	12か所	2か所	未達成	
4	多様な保育需要への対応	一時預かりの拡充	19か所	15か所増	34か所	34か所	達　成	
5	多様な保育需要への対応	特定保育の拡充	19か所	5か所増	24か所	23か所	概ね達成	
6	多様な保育需要への対応	病児・病後児保育の拡充	8か所	4か所増	12か所	8か所	未達成	
7	多様な保育需要への対応	休日保育の拡充	3か所	3か所増	6か所	5か所	未達成	164,556
8	多様な保育需要への対応	障害児保育の拡充	109か所	20か所増	129か所	131か所	達　成	
9	多様な保育需要への対応	延長保育の拡充	107か所	20か所増	127か所	129か所	達　成	
10	先取りプロジェクト認定保育施設及び保育ルームの拡充	先取りプロジェクト認定保育施設及び保育ルーム	64か所	18か所増	82か所	71か所	未達成	165,556
11	グループ型小規模保育の拡充	グループ型小規模保育施設	2か所	4か所増	6か所	7か所	達　成	137,462
12	幼稚園教育の充実（長時間の預かり保育の拡充）	長時間預かり保育の実施	10園	15園増	25園	25園	達　成	29,161

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

政策評価シート【個票：客観指標】

施策の柱	２－２　こどもを産み、育てやすい環境を創る
施策	２－２－１　子育て支援の充実

指標NO	40

指標名	子どもルーム待機児童数	単位	人

指標の説明	子どもルームに入所を希望しているが、定員を超えているため入所できない児童数	担当局（区）	こども未来局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	ー	57	21	0	×
現状値	96	364	－	－	

目標設定の考え方	目標は、待機児童ゼロである。 施設の新規開設をはじめ、今後の取組みにより、段階的に減少させる。

【達成状況の分析】

局所的に待機児童が増加した地域などにルームの増設を行ったが、共働きの家庭の増加などにより、全体の利用希望者が増加したことから、目標値を達成できなかった。
また、子ども・子育て支援新制度の対応として、高学年ルーム開設し、４年生まで受入対象を拡大したことに伴い、新たに待機児童（１５１名）が発生した。

【課題及び今後の取組みの方向性】

共働きの家庭の増加などにより、子どもルームの利用希望者も増加していることから、今後の利用児童数の推移を考慮し、新規開設や校内への移転の際の受入枠の拡大を図っていく。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	子どもルームの拡充	新規開設	107か所	3か所増	110か所	108か所	未達成	36,514
2	子どもルームの拡充	増設	1か所（23年度事業量）	3か所	3か所完了	2か所完了	未達成	
3	子どもルームの拡充	移転	4か所（23年度事業量）	12か所	12か所完了	8か所完了	未達成	

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	子どもルーム運営事業	運営	123か所	2か所増	125か所	123か所 （ルーム統合により2か所減）	未達成	6,045,121

政策評価シート 【個票：客観指標】

施策の柱	２－２　こどもを産み、育てやすい環境を創る
施策	２－２－１　子育て支援の充実

指標NO	41

指標名	ファミリー・サポート・センター活動件数	単位	件

指標の説明	ファミリーサポートセンターに登録している会員（依頼会員と提供会員）同士のマッチングがなされ、会員相互による援助活動が行われた件数	担当局（区）	こども未来局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	―	10,000	10,500	11,000	◎
現状値	9,633	11,992	－	－	

目標設定の考え方	説明会の実施など広報啓発活動を積極的に行い、会員登録数の増加を目指すこととし、目標値を設定した。

【達成状況の分析】

登録会員数については、H26年度末目標値(5,400人)には届かなかったが、着実に伸ばしてきており（H24年度：4,675人、H25年度：4,911人、H26年度：5,073人）、ホームページの掲載のほか、各区保健福祉センター、保育園、小学校、地域子育て支援拠点施設などにおけるリーフレット又は広報誌の配布、会員向けの研修会や交流会の実施など、広報啓発活動を行った結果、活動件数が平成26年度末目標値を上回ることができた。

【課題及び今後の取組みの方向性】

こどもの数が減少傾向となる中で、登録会員数や活動件数の増加を目指すため、今後も引き続き、積極的な広報啓発活動を行っていく。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	ファミリー・サポート・センター	登録会員数	4,575人	825人増	5,400人	5,073人	未達成	40,344

政策評価シート 【個票：生活実感・行動指標】

施策の柱	２－２　こどもを産み、育てやすい環境を創る
施策	２－２－２　こどもの健全育成の推進

指標NO	42

指標名	市内のこどもや若者は健全に育っている	単位	%

担当局（区）	こども未来局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	―	35.0	37.0	40.0	◎
現状値	33.3	37.8	－	－	

目標設定の考え方	困難を抱える子どもや若者たちを家庭・学校・地域でケアすることが重要な課題であることから、子ども・若者総合相談センターなどの事業の推進を図ることとし、目標値を設定した。

【達成状況の分析】

平成24年8月に「子ども・若者総合相談センターLink」を設置し、ニート・ひきこもり・不登校等、社会生活を円滑に営むうえで、困難を有する子ども・若者とその家族の相談に対応している。「子ども・若者総合相談センターLink」では、相談者の状況やニーズに応じて、適切な関係機関の紹介、同行支援、訪問相談を行い、相談件数は、増加してきている。

また、補導活動事業を積極的に実施したことで、補導人数の減少を達成した。

以上のことから、目標値の35.0%を上回ることができたと考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】

「子ども・若者総合相談センターLink」では、困難を抱える子ども・若者の状況や相談内容に応じて、より適切な対応ができるようにするため、相談員の増員や支援機関の拡充を図っていくとともに、これまでの取組みについても、引き続き実施していく。また、相談員による相談対応の技能の向上を図るため、研修等に取り組む。

今後は、支援を必要とする人に対して、切れ目のない支援ができるようにするため、家庭・地域・学校等と連携して、相談窓口を周知していく。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	子どもルームの拡充	新規開設	107か所	3か所増	110か所	108か所	未達成	
2	子どもルームの拡充	増設	1か所（23年度事業量）	3か所	3か所完了	2か所完了	未達成	36,514
3	子どもルームの拡充	移転	4か所（23年度事業量）	12か所	12か所完了	8か所完了	未達成	
4	こどもカフェの運営	モデル運営	1か所	1か所増	2か所	2か所 ★	達　成	632
5	児童養護施設の整備	児童養護施設	2か所	1か所増	3か所	3か所	達　成	217,929
6	子ども若者支援体制の充実	子ども・若者総合相談センター	―	設置・運営	設置・運営	設置・運営	達　成	1,834
7	子ども若者支援体制の充実	子ども・若者支援地域協議会	設置	運営	運営	運営	達　成	
8	ファミリーホームの拡充	ファミリーホーム	1か所	2か所増	3か所	3か所	達　成	0
9	地域小規模児童養護施設の拡充	地域小規模児童養護施設	1か所	1か所増	2か所	1か所	休　止	0
10	DV被害者への支援の充実	民間支援施設（シェルター）	―	助成　1件	助成　1件	助成　1件	達　成	1,000
11	DV防止・支援基本計画の策定	DV防止・支援基本計画	素案	策定	策定	策定	達　成	346
12	こどもの参画の推進	こどものカワークショップ	2区で開催	4区で開催	全区で開催	6回（計5区で開催）	概ね達成	0
13	放課後子ども教室の推進	参加指導員・協力員数	37,000人／年	11,000人／年増	48,000人／年	24,617人/年★	未達成	0
14	放課後子ども教室の推進	参加児童数	126,000人／年	36,000人／年増	162,000人／年	92,358人/年	未達成	0

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	子どもルーム運営事業	運営	123か所	2か所増	125か所	123か所 （ルーム統合により2か所減）	未達成	6,045,121
2	補導活動事業	繁華街や公園、駅周辺、列車内等を巡回する街頭補導の実施	1348回/年	3807回	1269回/年	1906回／年	達　成	20,478
3	青少年サポート事業	非行生徒等への支援	28人/年	75人	25人/年	27人／年	達　成	11,494

政策評価シート 【個票：生活実感・行動指標】

施策の柱	２－２　こどもを産み、育てやすい環境を創る
施策	２－２－２　こどもの健全育成の推進

指標NO	43

指標名	地域にこどもが安心できる居場所がある	単位	%

担当局（区）	こども未来局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	―	35.0	37.0	40.0	◎
現状値	32.8	39.5	－	－	

目標設定の考え方	こどもカフェの設置など、こどもの居場所にかかる各種取組みを推進するとともに、地域の安全・安心や地域福祉の充実につながる取組みを支援していくことで、値の向上を目指す。

【達成状況の分析】

子どもルームの拡充については、整備の緊急性の高い箇所を優先して実施したため、目標値を達成できなかったが、こどもカフェや子ども交流館等の事業を着実に実施したことで、H27中間目標値に達成することができたと考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】

共働きの家庭などの増加により、子どもルームの利用希望者も増加していることから、今後の利用児童数の推移を考慮し、新規開設や移転時の受入枠の拡大等を引き続き図っていく。
また、こどもカフェや子ども交流館の運営事業についても継続して行っていくほか、子どもルームと放課後子ども教室の連携の強化を図り、指標の向上を目指していく。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	子どもルームの拡充	新規開設	107か所	3か所増	110か所	108か所	未達成	
2	子どもルームの拡充	増設	1か所（23年度事業量）	3か所	3か所完了	2か所完了	未達成	36,514
3	子どもルームの拡充	移転	4か所（23年度事業量）	12か所	12か所完了	8か所完了	未達成	
4	こどもカフェの運営	モデル運営	1か所	1か所増	2か所	2か所 ★	達　成	632
5	放課後子ども教室の推進	参加指導員・協力員数	37,000人／年	11,000人／年増	48,000人／年	24,617人/年★	未達成	0
6	放課後子ども教室の推進	参加児童数	126,000人／年	36,000人／年増	162,000人／年	92,358人/年	未達成	0

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	子ども交流館管理運営	利用者数	62,984人/年	189,000人	63,000人/年	H26　96,330人/年	達　成	392,539

政策評価シート 【個票：生活実感・行動指標】

施策の柱	２－２　こどもを産み、育てやすい環境を創る
施策	２－２－２　こどもの健全育成の推進

指標NO	44

指標名	こどもが地域の大人たちに見守られながら育っている	単位	%

担当局（区）	こども未来局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	―	36.0	38.0	40.0	×
現状値	33.7	32.3	－	－	

目標設定の考え方	セーフティウォッチャーやこども110番のいえなど地域の見守りの目を増やすとともに、地域活動団体への支援を行うことで、値の向上を目指す。

【達成状況の分析】

こどもが地域の大人たちに見守られながら育っていると感じられるようにするため、指標を構成する各事業を実施しており、事業別のH26末目標値は達成しているところであるが、市民アンケートの結果は、H27年中間評価の目標値の36.0%に到達しなかった。

H27年中間評価の目標値に到達しなかった原因としては、各事業の趣旨及び効果等が市民にうまく伝わっていないこと等が考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】

指標を構成する事業は、全てH26末目標値を達成しているが、市民アンケートの結果につながっていないということは、各事業の趣旨及び効果等が市民にうまく伝わっていないと考えられる。

今後、各事業の趣旨及び効果等を、市民により丁寧に説明するなど、一層の周知を図っていきたい。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	こどもカフェの運営	モデル運営	1か所	1か所増	2か所	2か所 ★	達　成	632

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	子ども交流館管理運営	利用者数	62,984人／年	189,000人	63,000人／年	H26　96,330人／年	達　成	392,539
2	学校セーフティウォッチ	学校セーフティーウォッチャー登録者数	23,151人	599人増	23,750人	26，855人	達　成	3,088
3	民生委員・児童委員活動	委員数	1,423人	1,434人	1,434人	1,460人	達　成	553,671

政策評価シート【個票：客観指標】

施策の柱	２－２　こどもを産み、育てやすい環境を創る
施策	２－２－２　こどもの健全育成の推進

指標NO	45

指標名	街頭補導１回あたりの青少年の補導人数	単位	人

指標の説明	青少年サポートセンター職員と民間補導員・指導補導員等による、街頭補導１回あたりの青少年の補導人数	担当局（区）	こども未来局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	―	1.5	1.2	1	◎
現状値	1.78	0.56	－	－	

目標設定の考え方	非行少年等を対象にしたサポート事業や相談事業、学校や関係機関との連携を通した非行防止活動等を積極的に推進して補導人数の減少を図ることとし、目標値を設定した。

【達成状況の分析】

中心街及び地域での街頭補導を積極的に行い、補導回数をH23年度の1348回からH26年度は1906回に増加させた。その結果、補導人数は2406人から1061人まで減少し非行防止活動を推進することができ、目標値を大幅に上回り達成することができた。

【課題及び今後の取組みの方向性】

当初の目標を上回っているため、引き続き「補導活動事業」を中心に青少年の補導人数の減少を目指す。また、年数の経過とともに対象者が変わってくる可能性もあるため、注視していく。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	子ども若者支援体制の充実	子ども・若者総合相談センター	―	設置・運営	設置・運営	設置・運営	達　成	1,834
2	子ども若者支援体制の充実	子ども・若者支援地域協議会	設置	運営	運営	運営	達　成	

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	補導活動事業	繁華街や公園、駅周辺、列車内等を巡回する街頭補導の実施	1348回/年	3807回	1269回/年	1906回／年	達　成	20,478
2	青少年サポート事業	非行生徒等への支援	28人/年	75人	25人/年	27人／年	達　成	11,494

政策評価シート【個票：客観指標】

施策の柱	3－1　未来を担う人材を育成する
施策	3－1－2　地域の教育力の向上

指標NO	72

指標名	放課後子ども教室参加率	単位	%

指標の説明	全児童に占める放課後子ども教室に参加した児童の割合	担当局（区）	教育委員会事務局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	ー	13.5	14.0	14.5	×
現状値	13.0	12.8	－	－	

目標設定の考え方	今後も着実に参加児童数を増加させていくこととして目標値を設定した。

【達成状況の分析】

保護者を中心とした地域のボランティアにより運営を行っているが、事業開始から8年が経過し、多くの学校でボランティア人材の不足や意欲低下が顕在化している。
また、人材不足により「保護者の参加」を児童の参加条件としている教室もあり、就労家庭の児童が参加できない状況が発生している。
そのため、コーディネーター・学習アドバイザーの配置基準の見直し、科学関係、ちば生涯学習ボランティアセンター、埋蔵文化財調査センター、中央図書館等の活動支援プログラムの充実等の既存の取組みに加え、平成26年度には、各教室の活動計画や運営の中心的な役割を担うコーディネーターの全校一律の複数配置、指導員や協力員の活動を支援する相談アドバイザーの派遣、地域住民だけでなく広くボランティアを募集するためのボランティア登録制度を行うことで、指導員や協力員の負担軽減を含めた活動支援を行ってきたが、十分な効果をあげていない。

【課題及び今後の取組みの方向性】

新たな担い手の確保や活性化が課題であるため、既存の活動支援の取組みを引き続き実施していくと共に、今後は、民間企業や大学等の協力を得ながら、学習の楽しさの発見など、より多様で魅力的な体験・学びの機会の提供につながる活動支援方策を検討していく。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	放課後子ども教室の推進	参加指導員・協力員数	37,000人／年	11,000人／年増	48,000人／年	24,617人/年★	未達成	11,993
2	放課後子ども教室の推進	参加児童数	126,000人／年	36,000人／年増	162,000人／年	92,358人/年	未達成	11,993
3	地域づくりにつながる学習講座の推進	地域活動に係る人材養成	890人／年	50人／年増	940人／年	1,067人／年	達　成	0

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費